

地域のヒカリとなり、福祉のヒカリとなる

社会福祉法人エルム福祉会
広報誌「hikari Letter」Vol.3



hikari Letter

2023年 春号

Topics

- エルム福祉会の歴史 社会福祉法人エルム福祉会の設立とエルムの園について
- この人に、Zoom up!! 職員インタビュー
- 福祉豆知識 「就労支援」について徹底解説!
- 特集ページ お子様の「今」と「将来」の為に私たちが取り組んでいること
- hikari no café What's New !
- それぞれ色で、描く エルム福祉会利用者インタビュー
- 事業所一覧
- 求人情報
- まちがいさがしコーナー



あゆみ エルム福祉会の歴史

<今回のスポット>

社会福祉法人エルム福祉会の設立と エルムの園について

1984年（S59年）エルム共同作業所が、5名の利用者様からスタートしたことは、前号ですすでに述べられていますが、開所から10年が過ぎるころには、その数は**30人**を超えるようになりました。そこで、小規模作業所（法外施設）としての運営では限界があると感じ、新たに**社会福祉法人**を設立し、法内施設である授産施設（※1）を設立しようと考えました。

当時、社会福祉法人が福祉施設を建設するには、補助金が出たとはいえ、多額の自己負担と土地を自身で用意しなければならなかったため、ここでも多くの支援者の方々に支えていただきました。そして、1998年（平成10年）に「**エルムの園**」（**通所授産施設**）開所の運びとなりました。定員が30名で、知的障がいを持つ方が通い、仕事を始めました。作業所時代と比べて作業室が広くなり、設備も充実しました。支援員の数も増えて、活動の環境は**ずいぶん恵まれたもの**になりました。

また、マイクロバスを使って利用者様の送迎を行い、これにより今まで足がなくて通えなかった方の施設利用が可能になり、利用圏域も広がりました（2023年現在は、コロナ禍を契機にワゴン車等小さな車でのドア to ドアでの送迎に代わっています）。

仕事は、作業所時代と同様の「**下請け作業**」が中心でしたが、新たに**菌床しいたけ**（※2）栽培の作業を始めました（東日本大震災の影響を受け、現在は事業を廃止）。また、**名札**（**ネームプレート**）作成など独自のスキルが必要な作業にも取り組みました。機械を使ってプレートに名前を彫る作業、色を付ける作業、ピンを付ける作業と、各段階で工程を分けて作業を行っています。**現在では大田原市内の中学生の名札は、すべてエルムの園で作ったものとなっています。**当時は、「利用者様の工賃を上げよう」と職員全員が必死になっていたのを覚えています。

※1 法内施設にはいくつか種類があるが、その中で「精神薄弱者通所授産施設（当時の法律上の呼び方）」を選んだ。現在は「障がい者支援施設」と呼ばれ、障がいの区別無く受け入れ可能である。

※2 菌床栽培とは、木くずを固めたブロックに菌を埋め込み温度管理を行ってハウス内で栽培するものである。これによって、これまでは春と秋しか収穫できなかったしいたけが一年を通して収穫できるようになり、収入が安定した。



下請作業（日之出水道機器(株)より受注）



下請作業（ハンガーピンチや部品の加工等、内容は多種多様）



レーザー加工機を用いた名札（ネームプレート）の作成

レーザー加工品 ぜひご相談ください

エルムの園のレーザー加工機では、名札（ネームプレート）以外にも、表札・ノベルティグッズなども作製しています。

素材、大きさ、デザインをご相談ください。一つ一つ心を込めて要望に沿ったお品をお作りいたします。



エルムの園 TEL 0287-20-3117

表札

木製ボールペン
名入れ

エルム福祉会 沿革 令和5年5月現在

1984 (S59) 3月	財団法人エルム会設立（社会福祉法人エルム福祉会の前身）
1984 (S59) 4月	小規模作業所「エルム共同作業所」開所
1989 (H01) 10月	「移動スーパーサンクス」開所
1991 (H3) 12月	地域生活ホーム「エルムスプリングス」開所
1997 (H9) 9月	社会福祉法人エルム福祉会設立
1998 (H10) 10月	「エルムの園」開所 定員 30名
2000 (H12) 4月	「しいたけ菌床ハウス」建設、利用開始
2000 (H12) 10月	グループホーム「第1待降寮」開所（女性定員5名）
2002 (H14) 10月	グループホーム「第2待降寮」開所（男性定員5名）
2004 (H16) 4月	「SELP みなと」開所 定員 19名（現在40名）
2004 (H16) 10月	グループホーム「第3待降寮」開所（女性定員5名）
2005 (H17) 10月	「hikarino café 本店」開所 ※オープンは12月1日
2006 (H18) 10月	グループホーム「第4待降寮」開所（女性定員5名）
2007 (H19) 10月	グループホーム「第5待降寮」開所（男性定員7名）
2009 (H21) 4月	「smile」開所（児童デイサービス、生活介護事業）
2010 (H22) 10月	グループホーム「第6待降寮」開所（定員6名）
2012 (H24) 5月	「たじまの杜」開所
2014 (H26) 4月	グループホーム「第7待降寮」開所（男性定員5名）
2016 (H28) 4月	「joy's」開所（児童発達支援、放課後等デイサービス事業）
2016 (H28) 4月	「hikarino café 蜂巣小珈琲店」開所
2016 (H28) 11月	第28回 栃木県マロニエ建築賞 優良賞受賞
2017 (H29) 6月	グループホーム「第8待降寮」開所（女性定員7名）
2018 (H30) 4月	「大田原市相談支援事業」受託
2018 (H30) 7月	グループホーム「第9待降寮」開所（アパートタイプ女性定員5名）
2019 (H31) 4月	「放課後児童クラブ Valo」開所 学童保育1単位
2019 (H31) 4月	「hikarino café 大田原市庁舎店」開所（A定員10名）
2019 (H31) 4月	「なすの園」開所（児童発達支援、放課後等デイサービス事業）
2020 (R2) 4月	「紫塚児童クラブ」運営開始 学童保育2単位
2020 (R2) 4月	「大田原児童クラブ」運営開始 学童保育4単位
2022 (R4) 4月	グループホーム「第10待降寮」開所（男性定員7名、短期入所2名）
2022 (R4) 11月	hikari no café 茶羅 開所・オープン



令和5年4月末現在、67名の利用者が在籍中

この人に、Zoom up!!



障がい者支援施設 エルムの園
副施設長 大賀さん

Q1. 現在のお仕事内容を教えてください。

大賀 「障がい者支援施設 エルムの園」で支援員として勤務しています。利用者様の行っている作業の確認や指導、また生活上における様々な問題を解決に導くためのサポート(相談対応、通院の付き添い・移動支援等)内容は様々ですが主な仕事です。

また、副施設長の立場として、後輩職員への指導など、エルムの園のサービスが円滑に提供できる様見守る事が私の役割です。

Q2. この仕事に就いたきっかけを教えてください。

大賀

私の近くに、障がいを持った方がいる為「障がいを持った方のご家族が抱く「不安」や「心配」といった気持ち」がとてもわかります。

「それらの方々への不安や心配な気持ちを私の力で少しでも軽くし、笑顔を作れたらどんなに良いだろうか」と考えた時、気づけばこの仕事に就いていました。

Q3. 仕事をする上で重要だと思ってる事はありますか？

大賀

物事や出来事の一つ一つにおいて、「疑問」や「想像力」を抱くことが大切だと思っています。例えば、「利用者様は今どういう気持ちなのだろう?」「もしかすると、利用者様が今一番やりたい事はこれなのかな?」「どうしてこのような行動をしたのだろうか?」など、普段から想像力や疑問に思う事を心がける事で、よりスピーディーで良い支援ができると思っています。

Q4. 今後目指したい事(夢や目標)

大賀

私がエルムの園で利用者様を支援していく中で、一番嬉しい事が、利用者様の「できた!」なんです。新しい仕事を覚えられた時、自分から元気よく挨拶をするようになった時など、利用者様がどんどん社会に参加できるスキルを身に付けていく姿を見る事が、とても嬉しいです。

エルムの園の作業や生活を通して、利用者様の「できた!」を増やしていく事が目標です。

Q5. 大賀さんの休日の過ごし方は？

大賀

息子の野球の応援に夢中になっています!一生懸命野球をする姿を見ると、この上無い楽しみです。オフシーズンの期間は、美味しいお菓子を食べ、気ままにお昼寝をする猫のような優雅な休日を過ごすのが、最高の幸せです♡

「就労支援」について徹底解説!!

就職は「ゴール」ではない!



障がいのある方は、一般就労後に生活面でさまざまな課題に直面することも少なくありません。例えば、環境の変化で体調が崩れ遅刻や欠席が増えたり、せっかくだと給料を買ってもお金の管理ができず生活に支障が出てしまったり、何かあったときの対処法が分からず1人で抱え込んでしまったりするケースもあります。こうした困りごとへのサポートを行い、長く働き続けられるようにするのが就労支援です。具体的には、事業所の担当者が職場や自宅などへ訪問したり、就労に伴い発生している生活面の課題を把握し、就業先企業の担当者や障害福祉サービス事業者、医療機関などと連絡を取りながら必要な支援を行います。

福祉豆知識 拡大版

「就労支援」の定義 ~言葉の意味~

「就労」とは、仕事に就くという意味です。「支援」とは、それを助けるということ。つまり、就職をしたり、就職後に仕事が続けられるように支援することを「就労支援」と呼びます。就職先を一緒に探したり、面接の練習や、就職後のアフターフォローまで含みます。

就労支援サービスの種類とそれぞれの違い A? B?

障がい福祉サービスには、障がいをお持ちの方の「働く」をサポート(支援)する為のサービスとして、「就労移行支援」「就労継続支援」というサービスがあり、就労継続支援には「A型」と「B型」の2種類があります。これらのサービスの違いを項目別に見てみましょう。

	一般企業への就職と、職場定着をサポートする 就労移行支援	一般企業への就職が困難な方に働く場を提供する 就労継続支援	
		A型	B型
目的	就職する為に必要なスキルを身に付ける	就労の機会の提供、生産活動の機会の提供	
対象者	一般企業への就職を希望する方	現時点で一般企業への就職が不安、あるいは困難な方	
雇用契約	なし	あり	なし
工賃・賃金	基本なし (エルム福祉会では、工賃あり)	賃金あり	工賃あり
年齢制限	65歳未満		なし
利用期間	原則2年以内 (状況により延長が可能な場合がある)	原則として利用期間の定めなし	

エルム福祉会の就労支援事業所



エルムの園
就労移行支援、就労継続支援 (B型)
【主な仕事内容】
・下請作業(部品の組立・加工等)
・名札や表札の制作



SELP みなと
就労移行支援、就労継続支援 (B型)
【主な仕事内容】
・焼き菓子の製造、販売
・次亜塩素酸生成水の製造、販売
・hikari no café 本店・茶羅での接客・調理補助



hikari no café
華樂咖啡館
就労移行支援、就労継続支援 (A型)
就労継続支援 (B型)
【主な仕事内容】
・カフェでの接客、調理補助
・パン・スイーツの製造と販売
・大田原市庁舎での接客、調理補助

お子様の「今」と「将来」の為に 私たちが取り組んでいること

「児童デイサービス」の仕組み

一般的に障がい児が利用する「児童デイサービス」と呼ばれているものは、未就学児対象の「**児童発達支援事業**」と、小学生以上が対象の「**放課後等デイサービス**」の2つを指しています。

同じ児童でも、未就学児と小学生以上では、身体の発達も利用時間も違いますので、内容を分けて支援することになります。

1人ひとりのニーズや障がい特性（個性）に合わせて、児童発達支援管理責任者と呼ばれる職員が個別に支援計画を作り、その計画に沿って職員が支援を行います。



トータル支援

エルム福祉会では、これまで成人の施設を運営してきましたが、**幼少期からの一貫した支援の必要性**を感じていました。

「この方が小さい頃にこういう支援を受けていたらもっと違っていたかもしれない」と思う事があります。未就学から18歳までの発達期には、その年齢にあった支援が重要となるのです。

また、「smile」や「joy's」から「エルムの園」や「SELPMina cafe」へ就労するなど、社会人になっても関わっていくことができます。



→卒業後の進路として、同じエルム福祉会の就労支援事業所を選択する利用者様も多く、施設はその橋渡しを行う。



施設の「透明性」を大切にし、 保護者様や地域の信頼を得る

「smile」の開所時に、運営方針を基に建物のコンセプトを決めました。できるだけ「**OPENにする**」こと、「**施設っぽさを出さない**」こと、そして「**保護者様を大切に**」することです。これらは建物の設計の段階から準備し、目で見てわかるように具現化しました。可能な限りガラス張りにし、外部から見えるという姿勢を見せることによって、職員の意識変化や地域の皆様からの理解が得られやすいようにしました。また、施設っぽさを出さないよう、色にこだわり、壁や建具、外壁等はすべて白色に統一し、気軽に入りやすいよう配慮をしました。

さらに、**カフェルーム**を作り、保護者様同士の情報交換の場として、またレスパイト（休息）の場として利用いただけるようにしました。



→壁や建具は白色に統一し、可能な限りガラス張りすることで、施設っぽさを無くした。（撮影場所：smile）



→撮影場所：smile
令和3年4月に利用者様の増加に伴い増築。（写真の建物は、主に併設の「生活介護」で使用している。）



カフェ室

↑ヒカリノカフェのコーヒーを飲みながら、保護者様同士の情報交換の場やレスパイト（休息）として利用可。（smile・なすの園に設置）



エルム福祉会の障がい児支援事業所

＊ smile

平成 21 年（2009 年）開所
大田原市中田原 586-7

ST（言語聴覚士）による個別指導（毎日）や、併設の運動場でのスポーツレク等のプログラムがあります。
※カフェルームがございます。



3 歳～ 18 歳 対象
※併設の生活介護を使うと
18 歳～ 65 歳まで利用可

＊ joy's

平成 28 年（2016 年）開所
大田原市中田原 631-3

ソーシャルスキルトレーニング（SST）・アート活動・運動遊び・調理実習などのプログラムや活動を行います。
また、卒業後の法人内外の施設や学校への橋渡しを行います。



小学生～高校生まで対象

＊ なすの園

令和元年（2019 年）開所
那須塩原市沼野田和 493-1

親子で一緒に学び、サポートします。
・ST（言語聴覚士）による個別指導
・隣にある公園での屋外プログラム
※カフェルームがございます。



【親子通園】
0 歳～ 6 歳まで対象
【単独通園】
3 歳～ 18 歳まで対象



hikari no café What's New!

いらっしゃいませ。いつもご利用いただき、ありがとうございます。

新年度がスタートし、何かと忙しい時期ですね。学生さん・新社会人さん・それを支えるお母さん方・・・美味しいコーヒーとケーキで、ちょっと一息つきませんか？



Hot News!

とちあいか

とちあいかとは？

栃木県として、10番目のオリジナル品種、別名「栃木i37号」とも呼ばれています。栃木から2019年秋に初出荷された完全新種のいちごです。

名称は、購入者の投票により「とちあいか」「とちあかり」「とちまる」「とちれいわ」「えみか」「あまね」から最も多くの票を得た「とちあいか」に決定しました。

ひと粒が大きいので、とても食べごたえがあり、ほおばると口の中で特有のみずみずしさが広がります。



へたの部分が少しくぼんでおり、縦に切ると断面がハート♥に見えます。

hikari no caféの様々な商品に使われています！



フルーツサンド シフォンケーキ ロールケーキ パナコッタ

とちあいか生産者の方をご紹介します！

いちご農家の菅生さん



蜂巣小珈琲店が、当初フルーツサンドを始めた頃からお世話になっている農家さん。

朝摘みたての新鮮ないちごをお届けしてくださっている、笑顔の素敵な農家さんです！

☕ コーヒー豆知識 《シングルオリジンコーヒーとブレンドコーヒーの違い》

「シングルオリジンコーヒー」とは、農場や生産者・品種・精製方法などで一銘柄のコーヒー豆の事を指します。地域や品種によって味が変わるので、お好みの味を探すのも楽しみの一つです。

それに対して、「ブレンドコーヒー」は、複数の産地の豆を配合したコーヒーです。配合によって様々な味が出るので、シングルオリジンとはまた違った楽しみ方があります。また、飲みやすく配合されているので、コーヒー初心者の方でも楽しめるコーヒーです。

hikari no café オリジナルブレンドの「hikari no ブレンド」は、ブラジル系の香り高い浅煎りコーヒーです。全店舗で提供しておりますので、ぜひご賞味くださいませ。



instagram

フォローして、最新情報を check!



Facebook

“それぞれ色”で、描く。

エルム福祉会のサービスを利用中の方をご紹介します！



SELPみなと 橋本さんご夫妻 (夫：好勝さん 妻：静子さん)

障がいがあったからこそその出会い 障がいを乗り越えた愛のストーリー



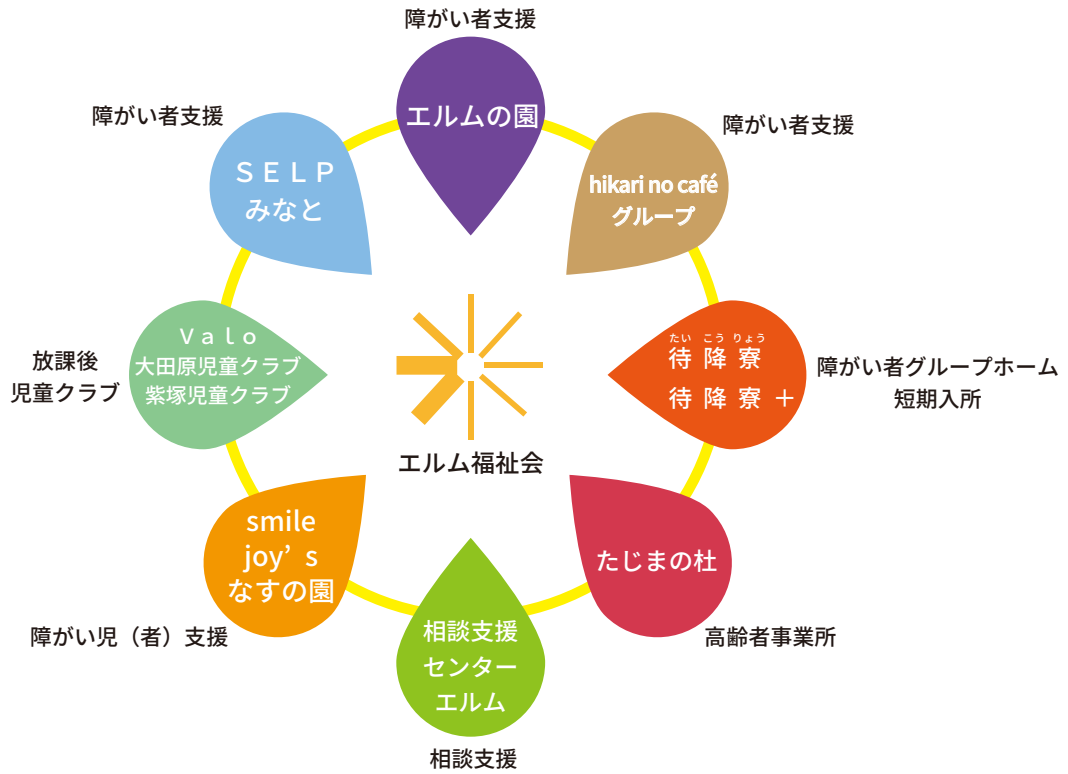
障害がある 愛がある 幸せがある

2008年、下野新聞創刊130周年記念企画「130年後に残したい 故郷とちぎ」に「支え合う」と題して橋本ご夫妻の結婚記念日11月17日に大きく記事にしてくださいました。そこには、「障がいがある 愛がある 幸せがある」「支え合いの関係は作業所の仲間たち、さらには地域へと広がる」と書かれています。

夫の好勝さんは、バイク事故に遭い、1年半意識不明の重病で、家族はこのまま植物人間になることも覚悟したそうです。しかしある時目が覚め、リハビリを経て退院。記憶することが困難な「高次脳機能障がい」と左半身麻痺が残りました。その後エルム共同作業所（現在の SELP みなと）に通い始め、静子さんとお会いします。ひと目惚れだったそうです。しかし、結婚したくとも、静子さんのご両親は障がい者同士の結婚には当時は反対しました。それでもお二人は、3年の月日をかけてご両親を説得し、めでたく結婚できたのです。好勝さんは、「障がい者になってよかった。こういう出会いがあったから。」と言いました。昨年11月、21年目の結婚記念日を迎えました。お二人の間には、「純真」で「献身的」な愛があります。

お二人は現在も SELP みなとに通勤しており、お互いに支え合いながら元気に毎日を過ごしています。





異なる機能を持つ施設が連携し、スムーズなケアを目指す

《基本理念》

『キリスト教精神に則り、隣人愛をもって社会に参加する』

《VISION》

『地域のヒカリとなり、福祉のヒカリとなる』

● ● ● ● 事業所一覧 ● ● ● ●

障がい者相談支援事業

どこの施設の、どのサービスを利用するかを一緒に考え、利用する為の計画の作成を行うといった相談者の方がスムーズにサービスを利用できる様支援します。福祉サービスの入口となります。



障がい者相談支援センターエルム

大田原市中田原 381
TEL/FAX 0287-20-3117

障がい児(者)福祉サービス

障がいのあるお子様に対し、遊びや創作活動を通して、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等を行います。(smile では、18歳以上の方も支援しています。)



smile

大田原市中田原 586-7
TEL/FAX 0287-23-9311

joy's

大田原市中田原 631-3
TEL/FAX 0287-23-6620

なすの園

那須塩原市沼野田和 493-1
TEL/FAX 0287-74-2300

障がい者福祉サービス

一般の企業に勤める事が難しい障がいをもった方に対し、就労の機会及び生産活動(利用者様にとって「仕事」の事です)の機会を提供し、就労に必要な知識や能力の向上のために訓練等を行います。



エルムの園

大田原市中田原 381
TEL/FAX 0287-20-3117

SELP みなと

大田原市本町 1-2701-229
TEL/FAX 0287-23-6106

hikari no café

本店
大田原市本町 1-2701-23
TEL/FAX 0287-23-2227

蜂巣小珈琲店
大田原市蜂巣 295
TEL/FAX 0287-54-2255

大田原市庁舎店

大田原市本町 1-4-1 市庁舎 1F
TEL 080-7418-9166

茶羅

大田原市紫塚 1丁目 4-3
TEL 0287-23-1979

学童保育

日中に保護者様がご家庭にいない小学生に対して、授業の終了後に適切な遊びや生活の場を提供し、お子様の健全な育成を図ります。



放課後児童クラブ Valo

大田原市紫塚 1-3-10 紫塚メゾン 1F
TEL/FAX 0287-48-7520

大田原児童クラブ

大田原市城山 1-6-7
TEL/FAX 0287-23-7044

紫塚児童クラブ

大田原市紫塚 1-7-1
TEL/FAX 0287-23-9572

障がい者グループホーム・短期入所

障がいを持った方に対し、「地域でその人らしく生きる」という考えにたち、世話人の援助を受けながら、生活を送る住まいの場です。



待降寮 (たいこうりょう)

第1待降寮～第10待降寮
障がい者グループホーム・短期入所
大田原市, 那須塩原市

待降寮+(プラス)

※今秋、第11待降寮(アパート型)開所予定

介護保険サービス(地域密着型)

- 小規模多機能型居宅介護 訪問介護・ショートステイ・デイサービスの3つの機能を1か所で提供します。
- 認知症対応型共同生活介護 認知症の方のグループホーム



たじまの杜

那須塩原市二区町 500-5
TEL 0287-48-7553

一緒に働きませんか？



価値観が明確です

法人としての指針が明確になっており、全員が同じ方向を向いて働いています

女性が活躍できる職場

女性の「主任」以上の割合 60%

育児休暇 100%取れる

皆さん1年～1.5年取っています
パート職員も男性職員も取得できます

研修やっています

価値観研修・ハラスメント研修
新人職員研修 他

残業ゼロを目指しています

ワークライフバランスを
充実させる為に

資格取得補助制度あり

働きながら資格を取る方が多いです

<職員 募集>

- ・支援員 ・送迎職員
- ・介護職員 ・G.H 世話人

初任給 : 193,632 円～ 244,795 円
※大卒・資格・経験等により異なります。
時給 : 940 円～ 1,200 円
各種手当 : 資格手当 他
勤務地 : 大田原・西那須野
資格 : 不問

<夜勤 募集>

- ・障がい者グループホームでの夜勤
- ・高齢者介護事業所での夜勤

給 与 : 夜勤 1 回 10,000 円～
勤務地 : 大田原・西那須野
資 格 : 不問

<児童デイサービス職員 募集>

- ・児童指導員 ・支援員補助 他

(障がいをお持ちのお子様と遊びながら支援を行う)

時 給 : 940 円～ 1,200 円
勤務地 : 大田原
資 格 : 不問

- ・ご応募の前に事業所見学も承っております。お気軽にご相談ください。
- ・各求人詳しい情報は、エルム福祉会ホームページの「情報公開」ページをご覧ください。
- ・ご応募の際は、最寄りのハローワークをご利用ください。
- ・採用に関するお問い合わせ先 … Tel 0287-22-8011 エルム福祉会 採用担当 高秀 (タカヒデ)

やってみよう！ まちがいさがし



編集後記

「hikari Letter 2023 年春号」をお読みいただき、ありがとうございます。早くも創刊号から1年が経過し、今回で Vol.3 となりました。

日々障がいをもった利用者様と接する事で、支援員(職員)である私たちが学ばせていただくことも大変多くあります。今後もお互いに様々な事を経験し、学び合い、教養を深めていけたらと考えております。

そして、この広報誌を通して私たちの活動を地域の皆様に伝えていけたら良いなと思っております。

次号もぜひご覧くださいませ♪



表紙のテーマ
作者名 三浦 悠(みづら はるか)さん
題名 「マスキングテープ」

左右の絵を比べて、間違いがいくつあるか当ててみましょう♪

下記の①～③を記入し、応募フォーム QR よりご応募ください。(はがきまたはメールに必要事項を記入してお送りしてもご応募可能です。)

正解者より抽選で10名様に、hikari no café 蜂巢小珈琲店(限定)で使える、ランチ無料券をプレゼント♪

- ①間違いの数は何個でしょうか？
A. 1 個 B. 3 個 C. 6 個
- ②住所・氏名・TEL
- ③今回の記事を読んだのご感想・ご意見

応募フォーム QR



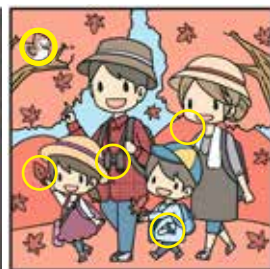
【はがきまたはメールの場合】

〒324-0244 栃木県大田原市蜂巢 295
hikari no café 蜂巢小珈琲店
Mail : info@hikarinocafe.com

応募×切 2023 年 6 月末日 (はがきの当日消印有効)

- ※当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
- ※個人情報は、プレゼントの発送と誌面づくりの参考にのみ使用いたします。

前回(2022 年秋号)の答え 5 個



発行日 : 2023 年 5 月 1 日
発行 : 社会福祉法人エルム福祉会
〒324-0062 栃木県大田原市中田原 381
TEL 0287-22-8011



エルム福祉会
公式ホームページ
もチェック!

次号は 2023 年 秋に発行予定です♪

